サッポロビール株式会社（証券コード：2501）

個人投資家様向け 会社説明会

2026年9月28日



Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

自己紹介

松出　義忠　Yoshitada Matsude

サッポロビール株式会社　取締役副社長 CFO、CAO*

1988.4
サッポロビール株式会社 入社
2019.10
サッポロホールディングス株式会社 経理部長
2020.3
サッポロホールディングス株式会社 グループ執行役員 経理部長
2022.3
サッポロホールディングス株式会社 常務取締役 経理部長
2025.3
サッポロホールディングス株式会社 専務取締役
2026.3
サッポロホールディングス株式会社 取締役副社長
2026.7
サッポロビール株式会社 取締役副社長（社名変更・現在に至る）



*CFO：最高財務責任者、CAO：最高総務責任者

Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD.　All rights reserved.

目次

✪サッポログループについて

✪サッポログループの成長を支える強み

✪これまでの取組成果と今期の見通し

✪中期経営計画2027-2030

✪株主還元方針

Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

✪サッポログループについて

Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

サッポログループの歩み

» 1876年に北海道・札幌にて創業し、2026年で創業150周年
» 創業以来受け継ぐ開拓者精神を礎に、更なる成長ステージへの挑戦を進める

1876 ★北海道・札幌にて「開拓使麦酒醸造所」として創業
翌年、冷製「札幌ビール」が誕生



1890 ★エビスビール発売
エビスビールの出荷のために
駅が設置されたことが
“恵比寿駅”の名前の由来



1899 ★日本初のビヤホール
「恵比壽ビヤホール」
東京・銀座に誕生



1957 ★旧ポッカコーポレーション創業
瓶入りレモン（後のポッカレモン）発売



1964 ★米国向けに
ビールの輸出を開始



1977 ★サッポロびん生
（後の黒ラベル）発売



1984 ★ポッカコーポレーション
シンガポール設立

2006 ★米国に
SAPPORO USA.,INC.
を設立

2011 ★カナダ
SLEEMAN子会社化

2024 ★YEBISU BREWERY
TOKYO開業



2026 ★ベトナム
ロンアン工場竣工

★カールスバーグ社との
戦略的業務資本提携を発表

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

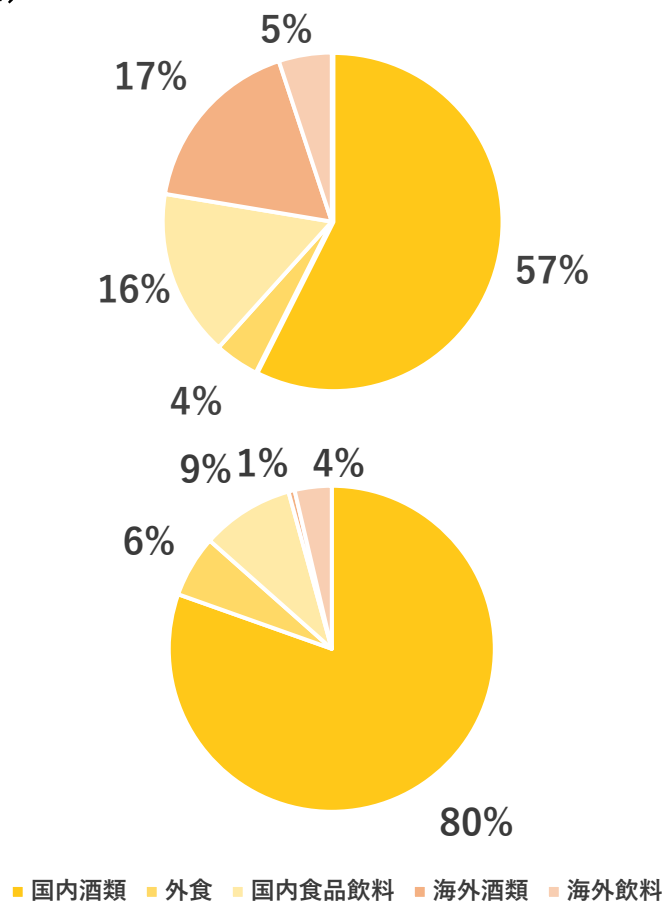
事業内容

» 国内では酒類・外食・食品飲料、海外では酒類・飲料を事業展開
» 経営理念「より豊かな未来を開拓する」のもと、74か国*のお客様へ価値を提供

◆2025年度実績(連結)

売上収益
5,069億円

事業利益
250億円



セグメント	主要ブランド	
国内事業	国内酒類・外食	国内食品飲料
海外事業	海外酒類	海外飲料





*2025年12月時点

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

✪サッポログループの成長を支える強み

Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

成長を支える強み：ビール（国内酒類）

» 酒税改正に伴い、税制区分中心のカテゴリ分類から価値軸のカテゴリ区分に移行
» 当社は、成長性の高いプレミアム・メインストリーム領域のビール（旧カテゴリー区分におけるビール）を注力領域と位置付け、引き続き強化していく

＜これまで＞

税制区分・品目によるカテゴリ

ビール
（プレミアム＋スタンダード）

発泡酒+新ジャンル
（発泡酒②）

＜これから＞

価値軸によるカテゴリ

注力領域

当社商品カテゴリ区分

プレミアム



・ヱビスビール
・SORACHI1984　etc

メインストリーム



・サッポロ生ビール黒ラベル
・サッポロクラシック　etc

エコノミー



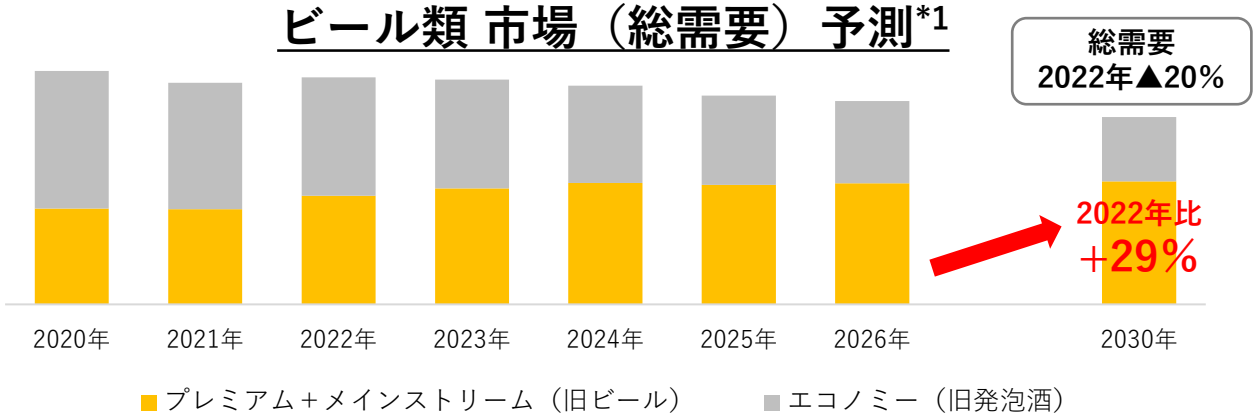
・GOLD STAR
・麦とホップ
・北海道生搾り　etc

Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD.　All rights reserved.

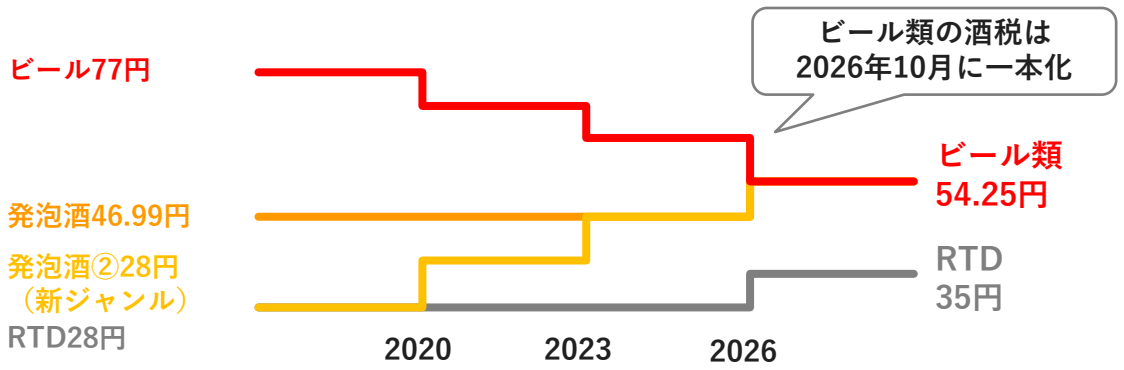
成長を支える強み：ビール（国内酒類）

» 酒税改正の追い風を受け、ビール（プレミアム・メインストリーム）は拡大を見込む
» 当社は市場との比較で同区分の構成比が高く、強みがある

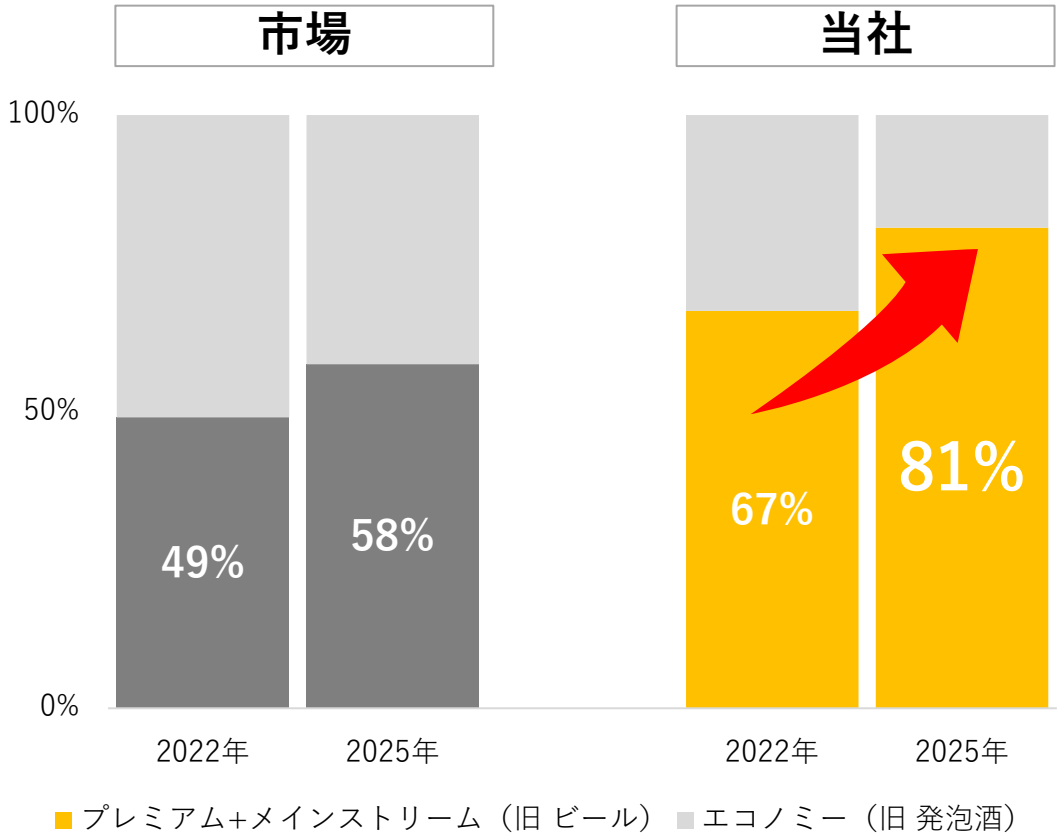
ビール類 市場（総需要）予測*1



酒税改正による酒税額の推移(350ml当たり)



カテゴリ別構成比(市場vs当社)



*1: 市場(総需要、数量ベース)は当社予測

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

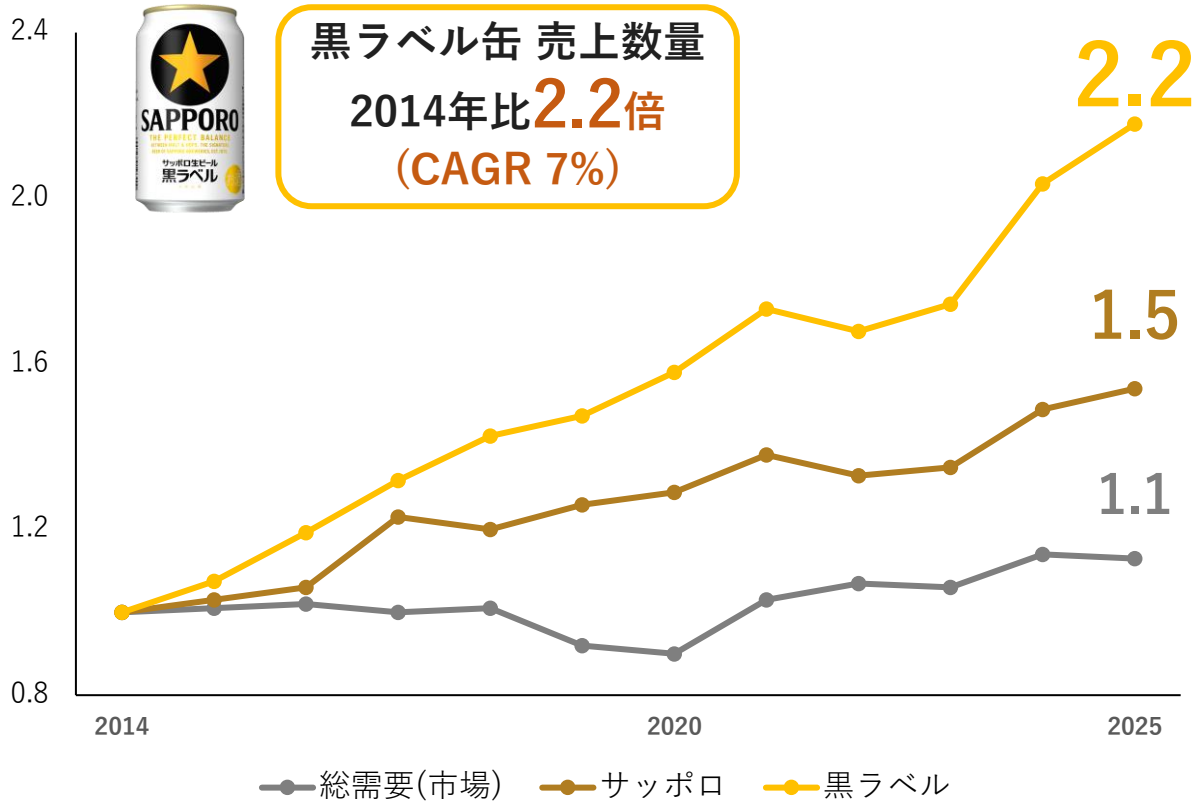
成長を支える強み：ビール（国内酒類）

» 当社は黒ラベル・ヱビスを中心とした多様なビールブランドを保有
» それぞれが持つ「個性」と「物語」を磨き、市場上回る成長を実現

当社がもつ個性豊かなビールブランド



プレミアム・メインストリーム ビール<缶> 売上数量推移※



※2014年を1としたときの推移。市場(総需要、数量ベース)は当社予測

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

成長を支える強み：ビール（国内酒類）

» 既存ブランドに集中し、ブランド姿勢や体験を訴求した独自のマーケティングを展開
» 若年層を含めた新規需要獲得が成長に寄与

◆黒ラベル

大人をカイタクする生ビール

広告(ブランド姿勢)







体験

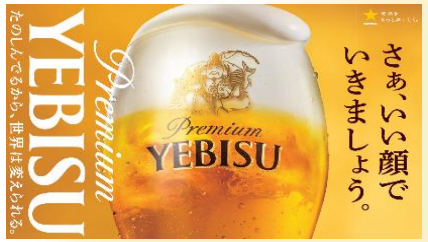




◆ヱビス

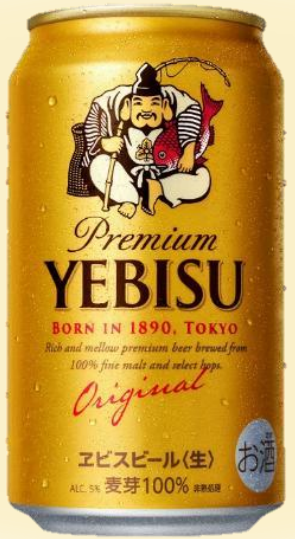
世の中に前向きな変化をもたらすプレミアムビール

広告(ブランド姿勢)





体験







（2025年ヱビスビアホリデーの様子）

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

成長を支える強み：レモン（国内食品飲料）

» 創業以来、約70年積み重ねてきたレモンの知見を強みに、高いプレゼンスを発揮
» 「キレートレモン」・「ポッカレモン100」を軸に、健康・美容領域にも商品展開

キレートレモン（2001年発売）

☑オリジナルを中心に、クエン酸・MUKUMIなど幅広く展開





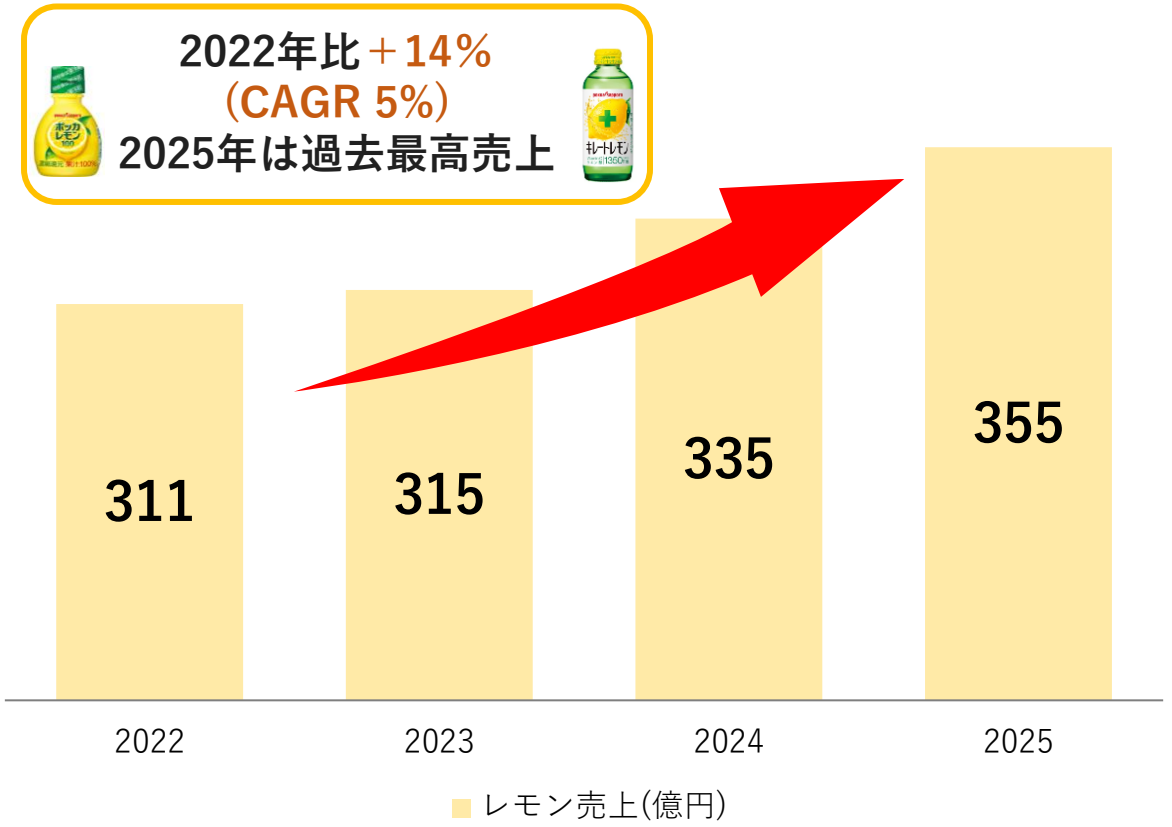
ポッカレモン100（1957年発売）

☑2024年に機能性表示食品(瓶3品)を取得
☑レモン原料をベースにしたドレッシングを新規展開





レモン売上金額推移※



※レモン食品・レモン飲料合算

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

成長を支える強み：SAPPORO PREMIUM BEER（海外酒類）

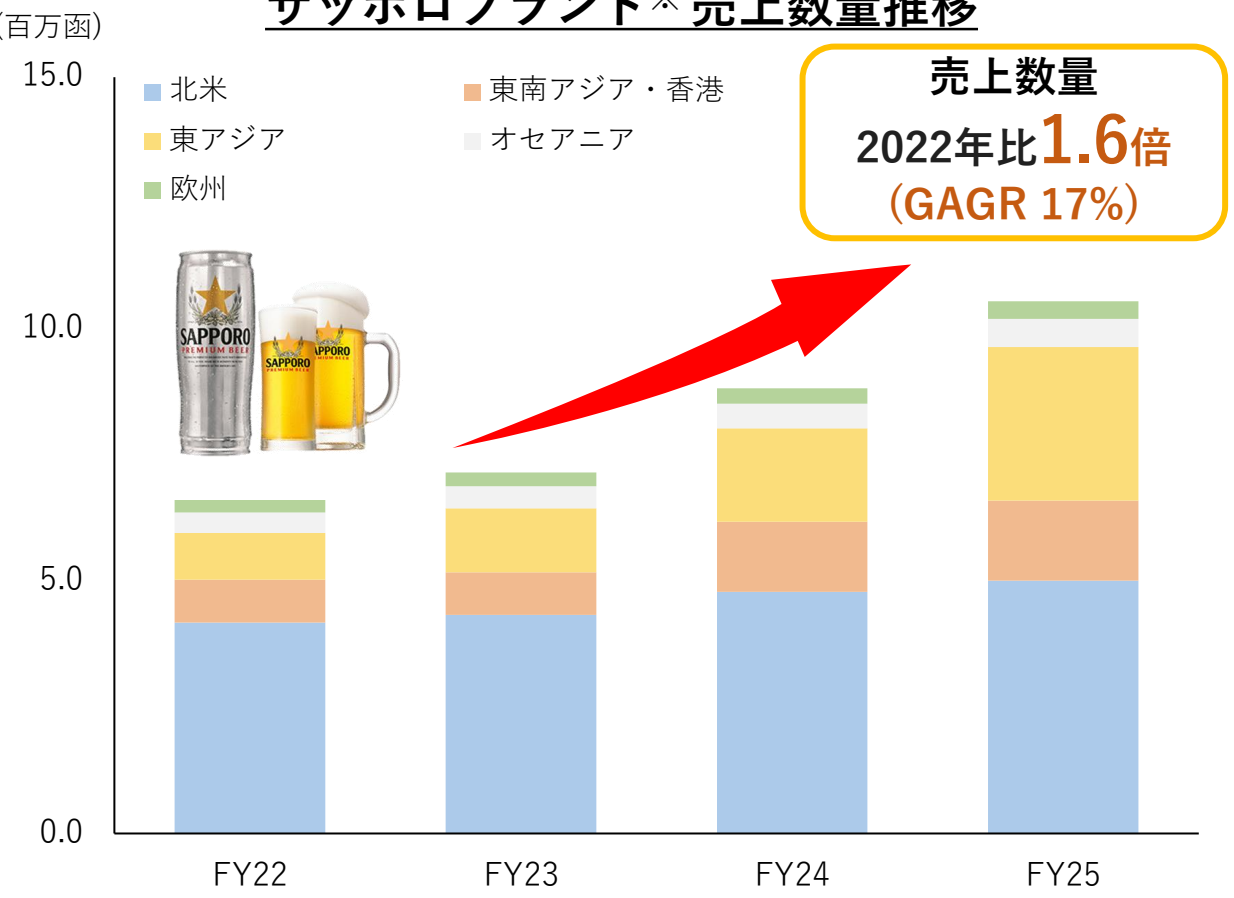
» 北米・APAC欧州を中心に、グローバル約60か国でSPBを展開
» 日本発のビールとして和食と共に拡大、プレミアムブランドとしてお客様の支持を獲得

SAPPORO PREMIUM BEER(SPB)の強み



＜SPBの強みを軸に世界へ拡張＞
・「札幌」の街の名を冠したブランド
・日本ならではの高い品質
・プレミアム価格帯としてのポジショニング

サッポロブランド※ 売上数量推移



売上数量
2022年比1.6倍
(GAGR 17%)

※SAPPORO PREMIUM BEERの他、一部エリアへのエビスビール等の輸出も含む

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

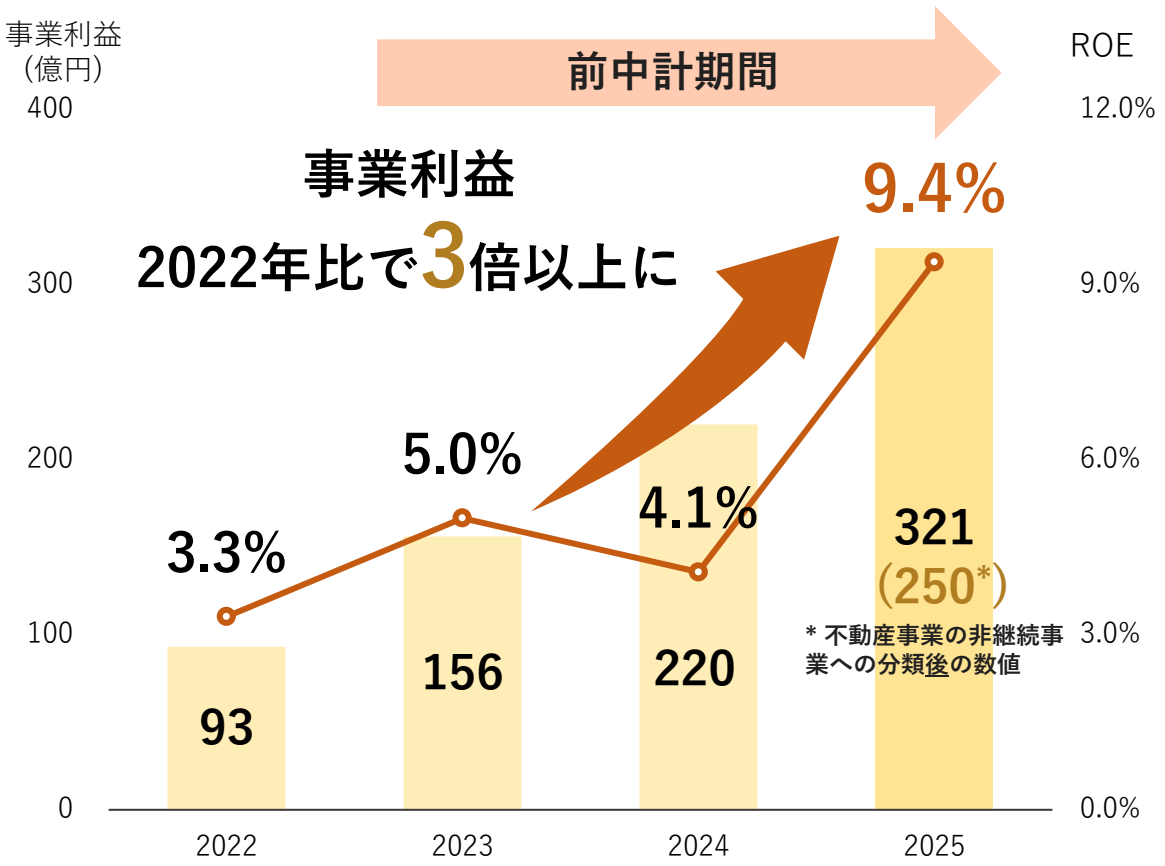
✪これまでの取組成果と今期の見通し

Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

前中計（2023-2025）の振り返り・取組成果

» 事業利益は中計期間で3倍以上に成長し、ROE目標(8%)を1年前倒しで達成
» 中長期戦略を策定し、酒類を中核とした企業への変革に向け、不動産外部資本導入を決定

事業利益・ROE推移



事業利益率推移(セグメント別)

	2022年度実績	2025年度実績	2026年度中計目標 (中計策定時の目標)
国内酒類	3.5%	9.0%	5.7%
外食	▲3.3%	9.5%	5.0%
国内食品飲料	0.9%	3.8%	3.8%
海外酒類	▲0.4%	1.1%	6.2%
海外飲料	3.6%	4.6%	5.0%

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

2026年 第2四半期決算および通期業績予想

» Q2は国内・海外ビールの着実な成長を実現。経営基盤強化に向けた構造改革も推進
» 中東情勢影響等に対し、コストマネジメント等で対応し、通期業績予想は据え置き

2026年 第2四半期(Q2)実績

(億円)	2025Q2 実績	2026Q2 実績	増減	前年比
売上収益	2,353	**2,359**	+6	+0.3%
事業利益	49	**68**	+18	+37.2%
営業利益	52	**▲59**	▲111	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	18	**2,954**	+2,937	-

☆ 国内ビールを中心に好調に進捗し、事業利益は増益
☆ 構造改革に伴う一時費用により営業利益は減益だが、不動産外部資本導入により親会社当期利益は大幅増益

2026年 通期業績予想(計画)

(億円)	2025 実績	2026 計画	増減	前年比
売上収益	5,069	**5,050**	▲18	▲0.4%
事業利益	250	**220**	▲30	▲12.0%
営業利益	244	**60**	▲184	▲75.4%
親会社の所有者に帰属する当期利益	195	**2,960**	+2,765	-

☆ 中長期的な成長に向けた成長投資・構造改革を織り込み、事業利益・営業利益は減益を計画
☆ 不動産外部資本導入により親会社当期利益は大幅増益を計画

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

2026年これまでの取組成果

» 成長戦略の推進、構造改革・成長基盤の構築を着実に進め、新たな成長ステージへの転換を図る

成長戦略の着実な推進	・ビール成長（第2四半期実績） - 国内ビール+5%（前年比） - 海外サッポロブランド＋15%（前年比）
構造改革・成長基盤の構築	・国内飲料自販機事業承継 ・米国 Stoneブランド譲渡・生産体制見直し
新たな成長ステージへ転換	・カールスバーグ社との戦略的資本業務提携の発表 ・中期経営計画2027-2030の発表

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

カールスバーグ社との戦略的資本業務提携（2026年7月発表）

» 2024年からのカールスバーグ社との協業の成功を踏まえ、対象地域を拡大
» カールスバーグ社が設立する中間持株会社に、当社が25%出資（約643百万米ドル）

これまでの取り組み/戦略的資本業務提携の概要

【2024～2026】
当社とカールスバーグ社は3年間でのSPBの拡販に成功

対象市場

マレーシア　香港　シンガポール

【2027～】
対象を拡大・合弁化し、長期的な関係に深化

対象市場

ベトナム　ラオス　カンボジア

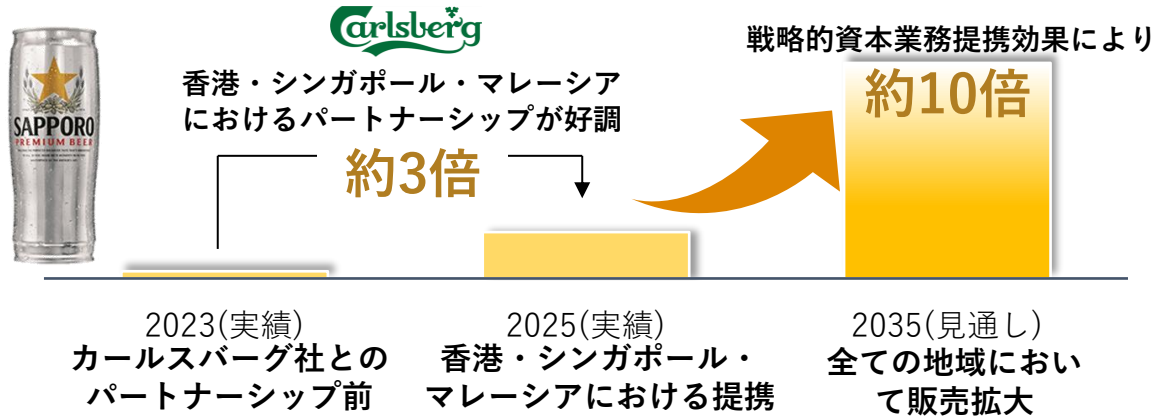
※ミャンマー/英国においてもブランドライセンス契約を締結

ポイント①　毎年+5%程度の成長市場

ポイント②　高収益の事業

ポイント③　強固な事業基盤（製造・販売）

対象地域におけるSPB販売量に関するイメージ図



利益貢献額*推移



*持分法利益・配当+ブランドロイヤリティ＋製造収益の合計金額

Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD.　All rights reserved.

✪中期経営計画2027-2030

Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

中期経営計画2027-2030の位置づけ（ロードマップ）

JAPAN PREMIUM BEER No.1 “SAPPORO”

2035年~

経営理念

より豊かな未来を開拓する
Pioneering the legacy of tomorrow

2030年

中期経営計画 2027-2030

長期価値創造に向けた成長ステージ

- ★ Bonds with Community と Healthier Choiceを軸とする成長戦略
- ★ 国内プレミアム化の推進と海外への拡張による成長加速
- ★ 成長投資と適正資本水準の実現による企業価値・株主価値の向上

2026年

中期経営計画（2023-2026）

収益構造改革・資本効率改善

主な成果
- ■ 国内外の主力ビールブランドの成長
- ■ 「構造改革」「強化・成長」の両輪により、収益力向上
- ■ 酒類を中核とした事業ポートフォリオへ変革（不動産事業への外部資本導入を決定）

今後の課題
- ■ 酒類事業を中核としたグループ一体での価値創造
- ■ 国内の競争優位性強化、海外の基盤再構築
- ■ 不動産外部資本導入資金による成長投資推進

2023年

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

価値創造を支える2つの戦略軸

» 2つの戦略軸で顧客価値の好循環を形成し、人生の多様なシーンでサッポロの選択機会を拡大

Bonds with Community

顧客との直接的で情緒的なつながりをつくり、体験価値を高めることで、サッポログループが「人生で何度も思い出され、選ばれ続ける」関係を育む戦略





嗜好性の高い
顧客価値の創造

Healthier Choice

「健康のために我慢する」選択ではなく、「好きなモノやコトを、長く楽しむ」ための健康や安心といった選択肢を提供する戦略





Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

2030年に向けて実現すること

財務目標

10.0%以上（対26年計画比）
EBITDA*1成長率（CAGR）
持続的なキャッシュ創出力の強化

1.5倍以上（対26年計画比）
EPS*2成長
利益成長と株主還元を通じた資本の適正化

8.0%以上
ROE
資本効率の向上

非財務目標

42%削減（対22年比）
スコープ1，2排出量
GHG排出量の削減

25%削減（対22年比）
スコープ3排出量
GHG排出量の削減

延べ3,000万人
「適正飲酒」に関する発信や体験活動
適正飲酒の発信、啓発・体験価値提案

50%以上
循環型社会に対応したPET容器比率*3
サーキュラーエコノミー社会実現への取り組み

20%以上
女性管理職比率*4
人事制度の推進、組織風土の実現

長期価値創造に向けた、成長ステージ

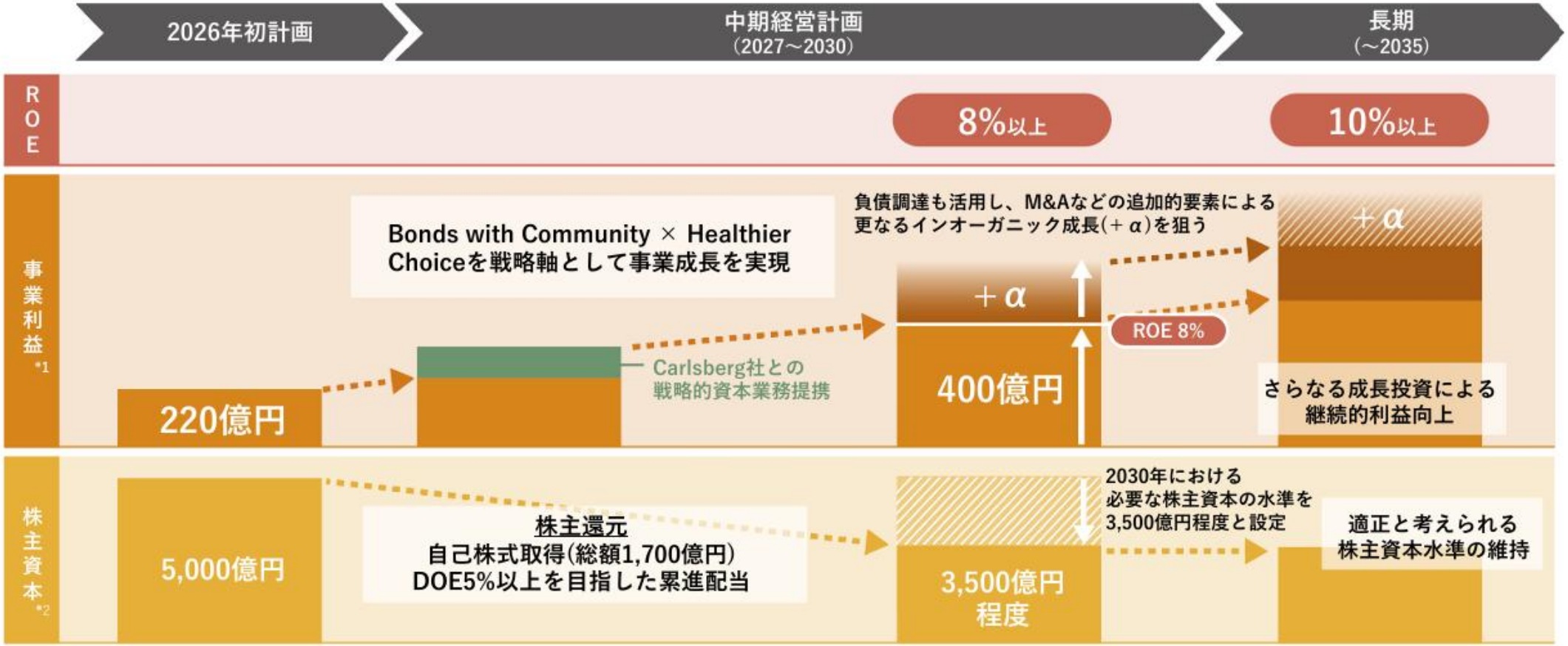
- Bonds with CommunityとHealthier Choiceを軸とする成長戦略
- 国内プレミアム化の推進と海外への拡張による成長加速
- 成長投資と適正資本水準の実現による企業価値・株主価値の向上

＊1 EBITDA = 事業利益（持分法投資損益含む） + 減価償却費（飲食店舗の家賃にかかる使用権資産の減価償却費を除く）
＊2 2026年のEPSは親会社帰属当期利益から不動産外部資本導入に伴う非継続事業からの当期利益および事業構造改革関連費用（減損損失・割増退職金等）などの一時的な特殊要因を除き算定
＊3 対象はポッカサッポロフード＆ビバレッジにおける国内販売PET製品
＊4 対象はサッポロビール、ポッカサッポロフード＆ビバレッジ、サッポロライオン

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

中長期的な企業価値向上に向けた財務シナリオ～ROE 10%以上に向けて～

» ROEについては成長投資による企業価値向上と株主還元の拡大を両立し
中期経営計画にて8%以上、インオーガニック投資により長期的には10%以上を実現する



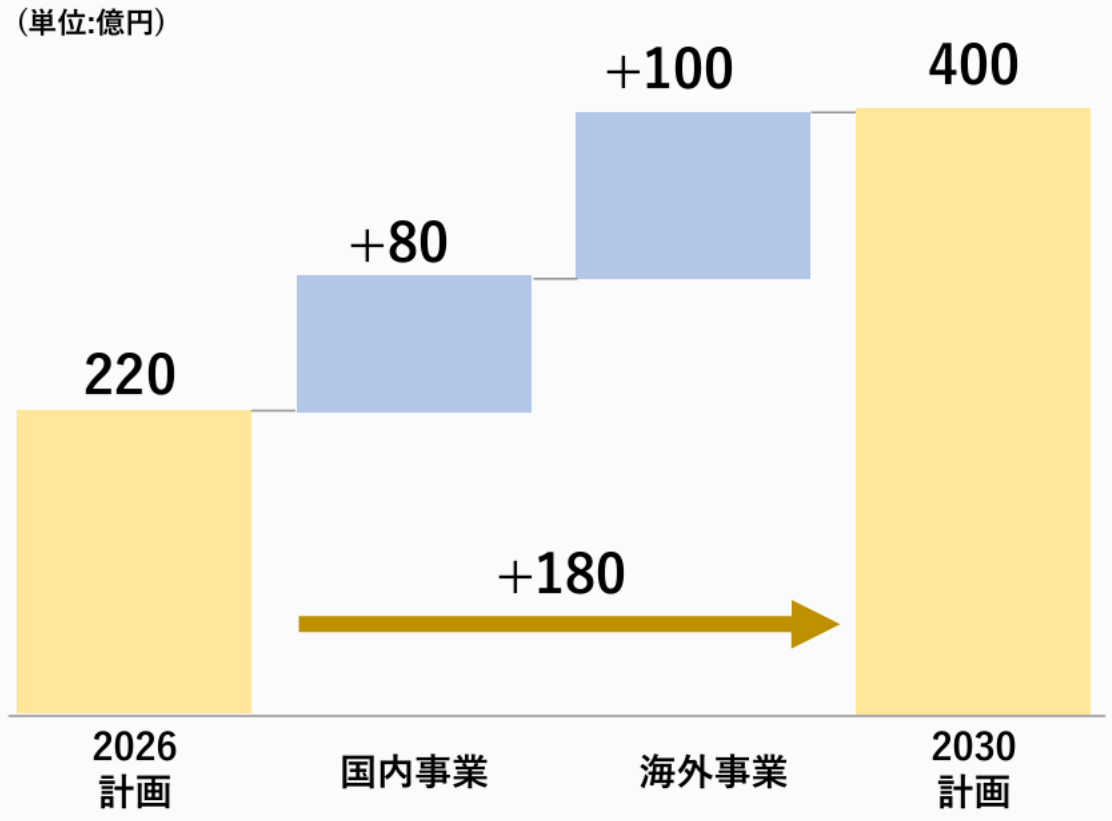
＊1 事業利益には持分法投資損益を含む　＊2 親会社の所有者に帰属する持分合計

Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD.　All rights reserved.

中長期的な財務シナリオの実現に向けて

» 2030年事業利益400億円の実現に向けて、オーガニック成長を中心に180億円の増益を目指す
» 負債調達も活用し、M&A等の追加的要素による更なるインオーガニック成長(400億円＋α)を狙う

<事業利益増減要因イメージ(2026年⇒2030年)*>



*事業利益には持分法投資損益を含む

事業	主な増減要因	
国内事業	ビール強化(ミックス改善・数量増など)	+60億円
	コスト構造改革	+20億円
海外事業	Carlsberg社との戦略的資本業務提携による利益貢献	+70億円
	米国事業構造改革	+15億円
	SAPPOROブランド成長	+15億円

※上記に加え、国内外のHealthier Choiceによる利益成長で、全社コストの増加等をカバーし、オーガニックでのさらなる利益成長を目指していく

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

キャッシュアロケーション方針

» 成長投資に過半を振り向けるとともに、株主還元を大幅に強化

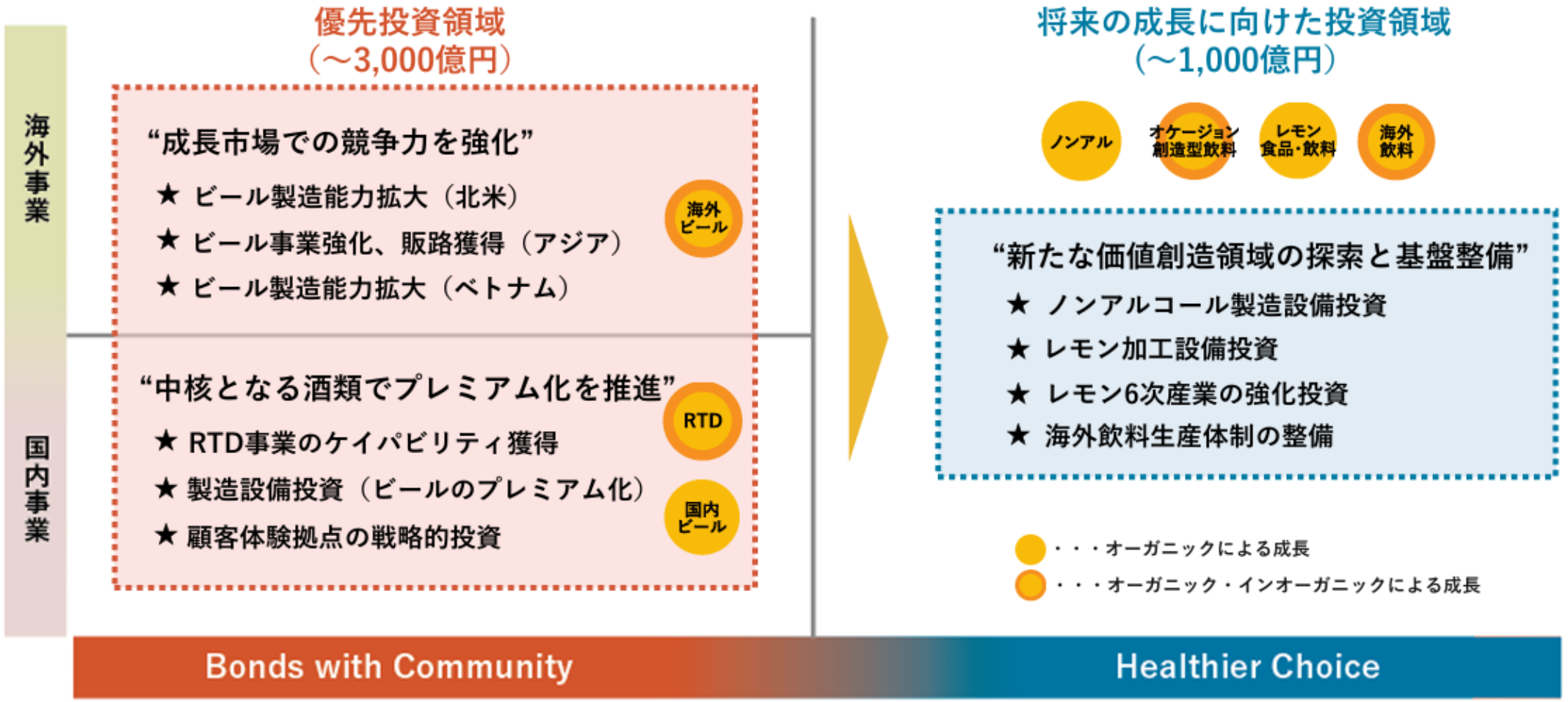


＊2026年実施分を一部含む：不動産外部資本導入(1回目)、成長投資(Carlsberg社との戦略的資本業務提携)、有利子負債の返済

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

成長投資分配方針

» 中核事業への重点投資による収益成長と、新たな価値創造領域への戦略投資を両立



Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

事業戦略　定量目標と基本方針

≫ 2030年の事業利益率として、国内事業10%・海外事業13%を目指す

	国内事業			海外事業		
KGI	2025年実績 事業利益率 8.0%	2030年目標 事業利益率 10%		2025年実績 事業利益率 1.8%	2030年目標 事業利益率 13%	
KPI	ビール*売上数量 120%以上（2025年比）	ビール*構成比 96%（2025年+15pt）	レモン売上 500億円（2025年比：130%）	SAPPORO ブランド売上数量 2,000万函（2025年比190%）	米国ビール売上数量 540万函（2025年比：150%）	海外飲料事業利益 2倍以上（2025年比）
基本方針	★ ビール*の成長を中核としたプレミアム化の推進	★ 伸びゆく市場（Beyond Beerと健康領域）における事業拡大	★ お酒の新たな価値を創造する取り組みの推進	★ 北米は事業基盤を再構築し、サッポロブランドにフォーカスして拡大	★ アジアはCarlsberg社を初めとした戦略的アライアンスによる量的成長を実現	★ JAPAN PREMIUMとして新たな価値創造の推進

*「ビール」は、プレミアム・メインストリーム領域のビールを指す（エコノミービールは含まない）

Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD.　All rights reserved.

重点アクション（国内ビール・プレミアム化の推進）

» 黒ラベル、ヱビスを中心とした、多様なビールブランドによるポートフォリオを構築
» ブランドの「姿勢」 と「体験」を軸にしてプレミアム化に向けて経営資源を集中

多様なビールブランドポートフォリオ

当社ビールブランドは、多様な顧客接点を保有



ブランド体験のさらなる強化

体験拠点の強化によるプレミアム化の推進

■サッポロ生ビール黒ラベル THE BAR



■YEBISU BREWERY TOKYO



■サッポロ生ビール黒ラベル BEER AJITO



■YEBISU BEER HALL TOKYO



Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

重点アクション（海外ビール・サッポロブランドの量的成長）

» エリア別戦略を推進し、JAPAN PREMIUM BEER としてグローバルでの量的成長を加速
» 2030年までに2,000万函規模（25年比で倍増）を目指す

サッポロブランド エリア別戦略

北米

・世界最大のプレミアムビール市場（日本のプレミアムビール市場の約28倍）
・製造から販売まで、自社でフルバリューチェーンを保有
・米国では、重点州に投資を強化し、CVS・米系食品スーパーへの配荷を拡大
・カナダでは、マーケティング投資を通じたブランド認知拡大を図る

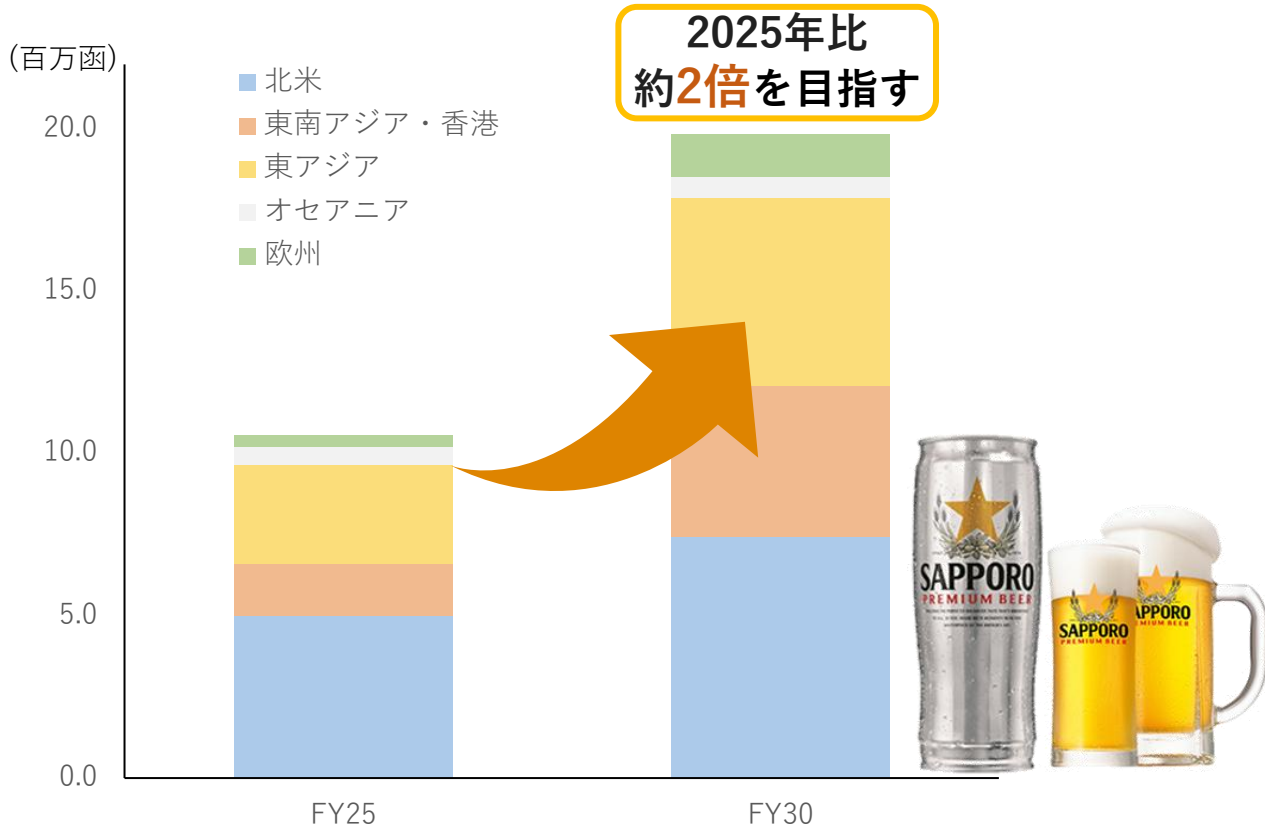
東南アジア・香港

・APAC・欧州における成長ドライバーの位置付け
・戦略的資本業務提携により、カールスバーグ社の強い販売網を活用した SPBの更なる配荷拡大、売上拡大を図る

東アジア

・SPBの売上構成比も大きく、日本ブランド・プレミアム需要拡大が進むエリア
・エリア別パートナーとの協業を通じ、輸出モデルでの更なる売上拡大を推進

サッポロブランド売上数量見通し

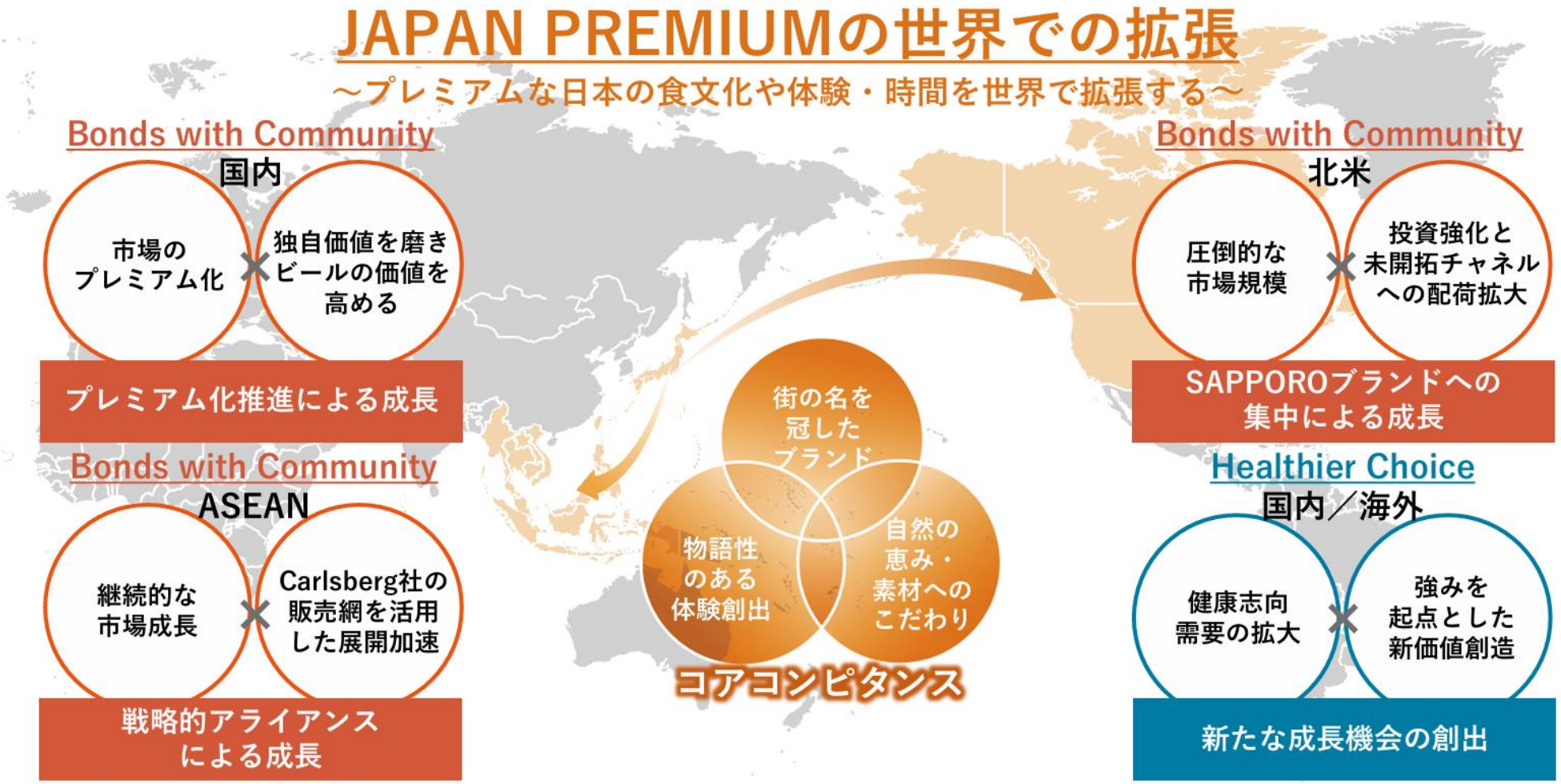


※2025年は実績、2030年は見通し

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

サッポロビールが目指す姿

» 「街の名を冠したブランド」・「物語性のある体験創出」・「自然の恵み・素材へのこだわり」を強みとし、JAPAN PREMIUMを世界で拡張



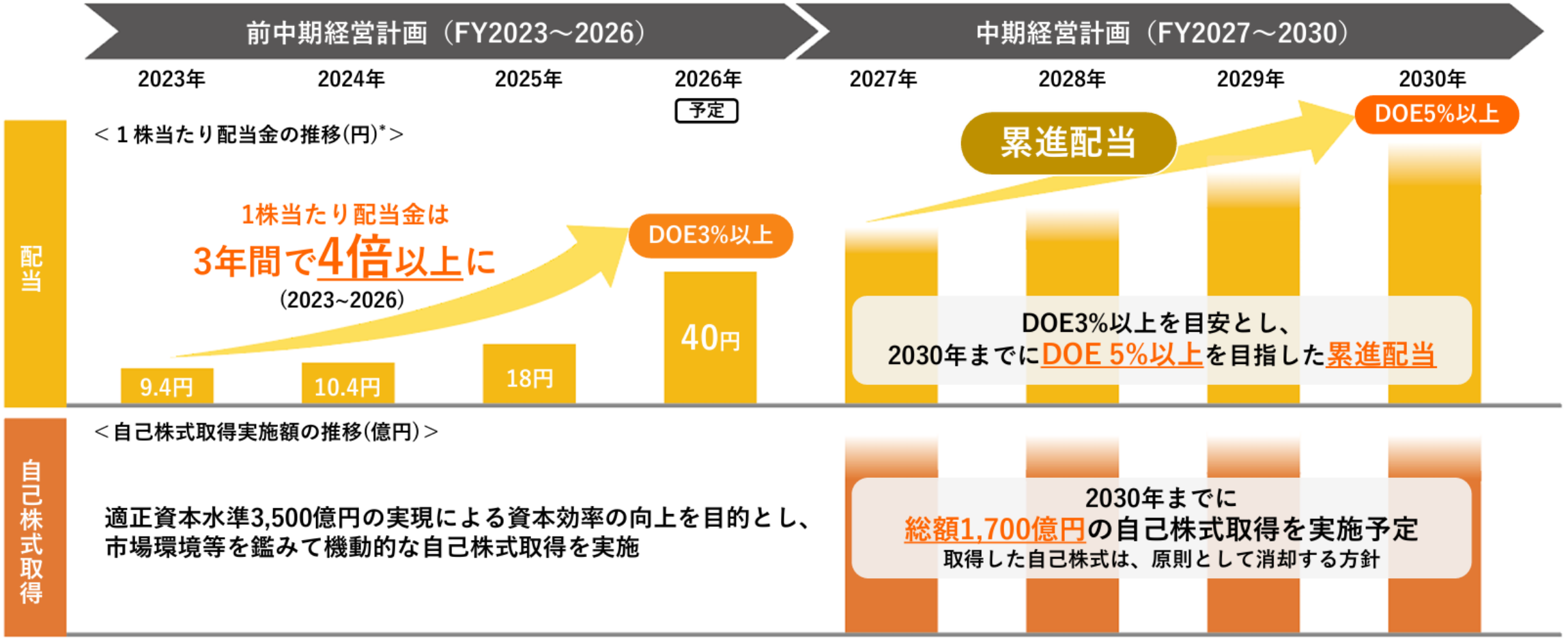
Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

✪株主還元方針

Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

株主還元方針

» 株主還元の拡大と適正資本水準の実現に向け、2030年までにDOE5%以上を目標とした累進配当および総額1,700億円の自己株式取得を実施予定



＊ 2026年1月1日に株式分割(5分割)を実施しており、過去の配当は分割後の1株当たり相当額を記載

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

株主優待制度（2026年度～）

» 2026年1月実施の株式分割に伴い、2026年12月期から株主優待制度を拡充
» サッポログループへの理解促進を目的に、電子クーポンや当社商品詰め合わせなどの優待をご用意

今回の優待拡充のポイント

旧優待制度比較で
約２倍に
内容拡充





100株単位から
優待対象
※分割後基準

対象：100株以上を1年以上継続保有
※2026年度は基準日時点で100株以上保有の株主様が対象

当社の優待制度の特徴

3年以上の
長期保有株主様の
優遇制度を維持
※長期保有も内容拡充

対象：100株以上を3年以上継続保有
※旧優待制度からの継続カウント

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

株主優待制度（2026年度～）

継続保有期間	保有株式数	優待品	
1年以上3年未満[*1]	100~299株	以下から一つ選択 1.電子クーポン 2.社会貢献活動への寄付	1.(1,000ポイント)　2.対象外
	300~999株		1.(2,000ポイント)　2.(2,000円)
	1,000~1,999株		1.(4,000ポイント)　2.(4,000円)
	2,000株以上		1.(8,000ポイント)　2.(8,000円)
3年以上[*2]	100~299株	以下から一つ選択 1.電子クーポン 2.ビール詰め合わせ 3.飲料詰め合わせ 4.社会貢献活動への寄付	1.(1,000ポイント)　2~4.対象外
	300~999株		1.(4,000ポイント)　2.(350ml×12本)　3.(3,000円相当)　4.(3,000円)
	1,000~1,999株		1.(8,000ポイント)　2.(350ml×24本)　3.(6,000円相当)　4.(6,000円)
	2,000株以上		1.(15,000ポイント)　2.(350ml×48本)　3.(12,000円相当)　4.(12,000円)

さらに上記の選択品とあわせて進呈（1,000株以上保有の株主様）
サッポロライオングループ等でご利用いただける「株主様ご優待割引券（20%割引券）」を5枚（1回の割引限度額は1万円）
割引券がご利用いただけるお店の紹介等は、各企業のサイトでご確認いただけます。

*1　2026年度については、2026年12月31日の基準日において、100株以上の保有が記載または記録されている場合、継続保有期間が1年未満であっても、1年間継続保有しているとみなします。
*2　3年以上の継続保有については、優待制度変更前からの継続カウントとなります。

Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD.　All rights reserved.

IR情報のご紹介

■ IR・財務情報
https://www.sapporobreweries.com/ir/

■ 統合報告書・FACTBOOK
https://www.sapporobreweries.com/ir/library/factbook/

■ サステナビリティブック
https://www.sapporobreweries.com/sustainability/library/

■ IRライブラリ
https://www.sapporobreweries.com/ir/library/

■ 個人投資家のみなさまへ
https://www.sapporobreweries.com/ir/investor/



Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.






より豊かな未来を開拓する
Pioneering the legacy of tomorrow













SAPPORO

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.